



接合補強金物

垂木接合用ビスによる屋根飛び保証

シネジック屋根飛び保証500

保証年数

10年

シネジック 屋根飛び 保証 500



保証の概要

タルキックⅡ又はタルキックスを用いて、施工標準書に基づいて施工し、「工務店・物件登録システム」に登録された新築建物が竣工10年以内に施工標準書記載の基準風速内にも関わらず屋根飛び被害が発生した場合、500万円を限度に補修費用を保証する制度です。

製品の概要

使用箇所及び使用ビス

- ・使用箇所：垂木－横架材（軒、母屋、棟木）接合部
- ・使用ビス：タルキックⅡまたはタルキックス



タルキックⅡ



タルキックス

■ タルキックⅡ（上）

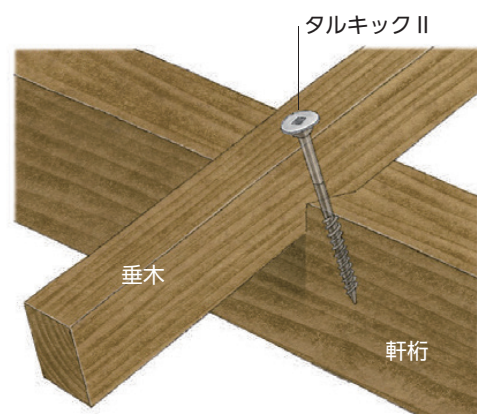
軒先のひねり金物の代用として全国の物件で広く採用されています。屋根全面へのビス施工により強固な屋根を作るため、当保証においては、軒先だけでなく母屋、棟木への接合でもタルキックⅡを使用します。

■ タルキックス（下）

屋根の形状や地域による風速の差異などにより、垂木の接合金物の要求性能は異なります。

風速が速い地域や軒の出が長い物件など、より高い強度が必要な場合にはタルキックスをご案内いたします。

屋根全面へのビス施工により強固な屋根を作るため、当保証においては、軒先だけでなく母屋、棟木への接合でもタルキックスを使用します。



イラスト：Miltata

耐用年数の根拠

表面処理：ノンクロム表面処理

設計・施工

施工標準書に基づいた施工もしくは許容応力度計算を行い問題無いことを確認したうえで、タルキックⅡおよびタルキックスを垂木-横架材のすべての接合部に施工してください

免責事項・適用条件

- ・シネジック屋根飛び保証500保証約款による
- ・ビスサイズ、使用上の注意

ビスのサイズと適合垂木成

タルキックⅡ		タルキックス	
品番・記号	垂木成	品番・記号	垂木成
TK5-105Ⅱ	～最大60mm まで	TS6-160	～最大90mm まで
TK5-120Ⅱ	～最大75mmまで	TS6-170	～最大100mmまで
TK5-135Ⅱ	～最大90mm まで	TS6-180	～最大110mm まで
TK5-150Ⅱ	～最大105mmまで	TS6-190	～最大120mmまで
TK5-165Ⅱ	～最大120mm まで	TS6-200	～最大130mm まで
TK6-185Ⅱ	～最大140mm まで	TS6-210	～最大140mm まで
TK6-200Ⅱ	～最大155mmまで		

※垂木幅は木割れが発生しない幅を選定してください。
推奨垂木幅：38mm 以上

使用上の注意

- ・ビスのサイズと適合垂木成を厳守してください。
- ・タルキックシリーズは垂木に対して垂直に打ち込み、ネジ部が全て横架材に入り込むように施工してください。（右図A参照）
- ・垂木と横架材（軒、母屋、棟木）の交差箇所はすべて接合してください。
- ・頭部の沈ませ過ぎに注意してください。（右図B参照）
※沈ませ過ぎによりビスの空回りが起きた場合には違う箇所に打ち込み、強度確保を行ってください。
- ・木割れが発生した場合は違う箇所に打ち込み、強度確保を行ってください。
※強度確保例：木割れが起きていない箇所に打ちなおす。もしくは耐力が同等以上の金物を取り付ける。
- ・屋根構面の運用を行いたい場合はお問い合わせください。

提供価格

物件登録料：無料

工務店登録を行い、「タルキックⅡ」または「タルキックス」を購入し、使用した物件の物件登録を竣工6か月以内に行うことで保証が有効化

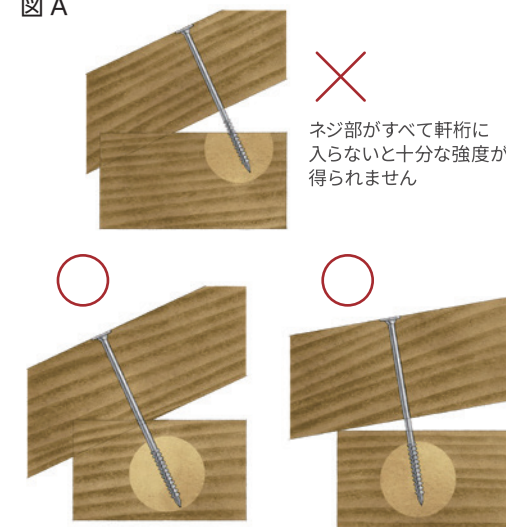
一般資材との違い

垂木を接合する金物において、屋根飛び保証がある製品は、これまでなかったため唯一の保証が付された製品です。
また、耐風対策の他、地震対策として品確法で示される屋根倍率よりも高い倍率の運用も可能です。

特にアピール

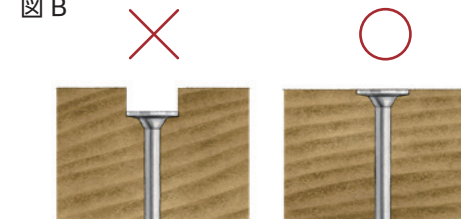
業界初の小屋組みに関する保証です。
（保証期間10年、最大500万円まで保証）

図 A



✗
ネジ部がすべて軒桁に入らないと十分な強度が得られません

図 B



✗
頭を沈ませすぎると引き寄せ効果が低下し十分な強度が得られません

シネジック株式会社
電話 022-351-7330
<https://www.synegic.co.jp/news/3567/>

ホームページはこちら

